

第3次大分県環境教育等行動計画の概要



第1章 第3次行動計画の策定にあたって

- 1 計画策定の背景**
 - 平成28年に第2次大分県環境教育等行動計画を策定し、「おおいたうつくし作戦」を担う人材の育成目的に環境教育を推進
 - SDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けて、ESD（持続可能な開発のための教育）を踏まえた環境教育の推進
- 2 計画の位置づけ**
 - 「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」第8条に基づく行動計画
 - 「第3次大分県環境基本計画」の環境教育等に関する個別計画
- 3 計画の期間**
 - 令和2年度から令和6年度までの5年間

第2章 計画の目指す方向

- 1 計画の目標**

地域と地球環境の未来づくりに意欲と能力、行動力を持つ人材の育成
- 2 計画の基本的な考え方**
 - 環境教育等促進法の尊重
 - ESDを取り入れた環境教育の推進
 - 多様な担い手との連携
 - 歴史・文化の理解
 - 地域の中で、環境を感じ、環境を守り、未来を創造する力を育む

第4章 計画推進のために

- 1 各主体の役割**
 - 各主体ごとにそれぞれ求められる役割を提示

第5章 行動計画の推進・進行管理

- 1 推進体制**
 - 知事部局と教育委員会・学校との連携
 - 学識経験者や環境関係の団体、事業者、環境NPO等で構成する「おおいたうつくし県民会議」との連携
- 2 進行管理**
 - 毎年、取組の実施状況、行動指標に係る目標の達成状況を環境白書等により公表

第3章 施策の展開

I 環境保全のための力を育む教育の推進

- 1 推進基盤の整備**
 - 指導者の育成
 - 学校等における指導者の育成
 - 地域社会における指導者の育成
 - 人材の活用
 - 学校や地域社会等における指導者の活用
- 2 体験・活動・行動の機会の創出**
 - 学校等における環境教育等の充実
 - 家庭・地域社会における環境教育等の充実
 - 事業所が行う環境教育等への支援
- 3 協働取組の推進**
 - 県民、事業者等との協働
 - NPOとの協働
 - 県の率先行動の推進
- 4 持続可能な地域づくりに向けた県民理解の醸成**
 - 教材・学習プログラム等の整備と活用
 - 各種メディア等を活用した情報の提供

II 未来を創る力を育む教育の推進

- 1 持続可能な社会づくりに向けた理解の醸成**
 - 各種メディア等を活用した環境情報の提供
 - 環境学習リーダーによる環境情報の提供
 - 持続可能なまちづくり学習会の開催
- 2 ESDを踏まえた環境教育の推進**
 - リーダーの育成
 - 地域における推進体制の整備
 - 体験・活動の場づくり
 - 次世代の育成

行動指標

	H30(基準)	R6(目標)
・環境教育参加者数(累計)	106,347人	133,000人
・幼児向け環境ワークショップ参加者数	170人	210人
・幼児向け環境劇の公演回数	30回	30回
・森林学習体験児童数	4,939人	4,500人
・ユネスコエコパークや日本ジオパーク、世界農業遺産等を活用した環境教育実施校数	117校	132校
・高等学校での地域と協働した環境教育の実施件数	66件	90件
・ユネスコスクール登録数(累計)	5校	10校
・市町村教育委員会及び公民館が実施した環境教育関係学級・講座数	31回	43回
・こどもエコクラブ参加メンバー数	1,606人	1,795人
・NPO等と協働した児童生徒に対する体験型環境教育の実施	15団体	10団体
・水生生物調査参加団体数	13団体	14団体
・エコアクション21登録件数(累計)	95件	154件
・おおいた環境学習サイト「きらりんネット」年間アクセス件数	19,169件	22,000件
・体験の機会の場認定件数(累計)	0件	5件
・地域ESD活動拠点の登録件数(累計)	1件	3件

